

中学校

言語活動
「情報を分析・評価し、論述する」

育成したい
言語の能力

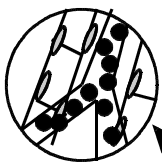
表す力：観察結果から分かったことを正確に記録し、発表する。
想像する力：自分の生活経験や知識と結び付け、根拠を基に推論する。

教材等の例

「メダカの尾びれを観察しよう」（第7時間目）

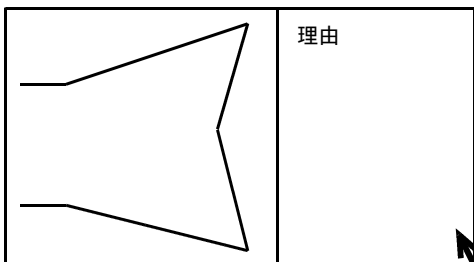
1. メダカの尾びれを観察し、気づいたことを文やスケッチしてみよう。

- ・血液に流れが速かった
- ・黒っぽくて丸いのがたくさん流れていた。
- ・血管が2つに分かれていた。

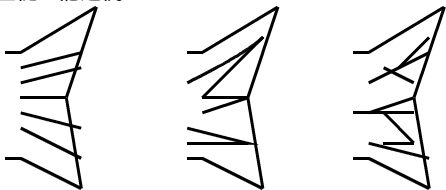


スケッチ

2. メダカの尾びれの先の毛細血管の様子は、どのようになっているのか考え、その理由を書きましょう。



生徒の記述例



- A 尾びれの見た様子から考えた
B 観察から、血管には2つの流れがあった
C 観察から、血管は二股に分かれていた

単元名等 2年 理科 「動物のからだのはたらき」

7時間目/10時間

本時の目標 メダカの尾びれを顕微鏡で観察し記録したことから、尾びれの毛細血管のつくりについて理解する。

本時の流れ

分析・評価する

メダカをチャック付きポリエチレン袋に入れ、尾びれの毛細血管の様子を観察し、気づいたことをスケッチや文章で書く。

観察によって気づいたことを班内で発表し合い、友達の気づきと自分の気づきを比較し、自分が気づかなかった事実があった場合には、記録する。

指導の工夫

観察によって得られた事実をより正確に理解するため、スケッチすることで細部についても気づくようにする。

自分の生活経験や知識と結び付け、言葉で分析しながら図により表すようにする。

論述する

観察結果を基に、尾びれ全体の毛細血管の様子を推察し、根拠を基に自分の考えを入れて図や文章で書く。

クラスみんなにイメージ図を示し、自分の考えを説明する。

観察結果から、考えられる尾びれの様子について、簡潔に発表する。

話し合いにより深まった考えを赤ペンで書き加える。